

拠点5 板橋（板橋区立赤塚福祉園）

1) 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

今年度は、生活介護事業36名（定員60名）、就労継続支援B型事業37名（定員40名）、計73名でスタートした。年度末の在籍者数は、年度途中の入所施設への移行等により、生活介護事業33名、就労継続支援B型事業は35名となった。

福祉園全体では、責任者クラスの職員による運営会を組織し、板橋区から求められている地域生活支援拠点事業の一環である短期入所事業の利用促進を図るため、赤塚ホームを中心に職員の勤務調整を実施するなど、日常業務においてより一体的な運営に努めた。さらに、今年度は現・指定管理期間の最終年度を迎え、次期指定管理期間のプロポーザルに応募し、2027年度からの特定相談支援事業の開設を含め、次期指定管理事業者として決定した。また、昨年度より義務化された感染症および食中毒防止に関する健康・衛生管理について、既存の健康管理委員会をまん延防止委員会として一体的に設置し、定期的な委員会の開催や嘱託医による研修を実施するなど、必要な対策を講じた。

生活介護事業と就労継続支援B型事業は、作業・活動（受注、創作等）の一体化を進め、この活動における自主生産品統一ブランド「A T B」においては、板橋区内外のイベント等への積極的な参加を通じて、ブランド力の向上及び販売活動の強化を図り、コロナ禍を経て販売手法も多様化された中、ECサイトへの出店などオンラインの活用にも取り組んだ。また、近年の日本経済における物価高騰などを受け、利用者中心の生産活動としての持続可能な取り組みへと見直しを行う中、製作品が渋谷のセレクトショップでの販売につながっていたが、店舗の閉鎖に伴い販路の検討を余儀なくされている。なお、生活介護事業では、出張サービスを活用したカフェなどの園内イベントや選択制の目的別外出を実施し、就労継続支援B型事業では、利用者発信での行事を実施するなど、自治会活動も継続して行った。

緊急保護事業については、近年、介護者の高齢化に伴う急な入院、障害児を中心とした家庭内の問題等により、長期利用を要する利用希望が増加している。利用については、民間短期入所事業利用までのつなぎとしての利用を含め、板橋区との調整・協議により対応した。また、地域生活支援拠点の整備等を足掛かりに板橋区と協議の上、要綱を見直し、緊急保護事業としての役割がより明確化されたが、緊急時の受入れ・対応や本人事由による体験利用を設定するなど、地域生活支援拠点における面的機能としての役割も担うため、引き続き、各関係機関との連携を図っていく。

短期入所事業については、板橋区における地域生活支援拠点事業の一環としての運営となる。緊急保護事業における介護者と対象者への事業内容の周知及び利用登録の推奨と同時に、障害サービス課地域支援係等の各関係機関にも周知、積極的な情報交換や連携を行うことで、引き続き、新規利用者の開拓にも取り組んでいる。また、利用契約をきっかけに、障害支援区分の取得を促進することで、社会資源活用の幅を広げることも期待し、地域生活を望む利用者を支えていく役割として担っている。利用状況としては、昨年度からの送迎事業（緊急保護事業含む）の導入もあり、利用率は増加した。区立の短期入所事業のため、基本的に日数制限を設けているが、平日の利用も増加

している。

高齢化等、多様化する利用者及び利用者家族の課題に対応するため、職員による相談支援体制の充実を図り、相談支援事業所や障がいサービス課地域支援係等、各関係機関との連携を進め、「利用者・家族双方にとっての最善の生活」が送れるよう積極的に支援した。今年度、65歳を迎え、介護サービス事業所へ移行するケースが3件（生活介護2、就労B1件）あった。今後も続いていく状況があるが、引継ぎ等、丁寧な対応を行うと同時に、利用者本人にとって不利益にならないよう、都度、行政や各関係機関には働きかけていく。

事故防止については、マニュアルや事故（再発）予防の検討・周知の手順等の整備が整い、事故事例とヒヤリハット事例からの共有、予防対策の検討を事業所ごとの責任体制の中で実施する体制がとれていた。一方で、事故案件の検証・再発防止対策策定管理のために主任者会を上部においた2部体制は十分に機能しなかった。そのため、事故予測のための意識や姿勢の向上が、利用者理解や支援の向上と共に進むべきだと考え、事例検討を伴う研修や育成が必要と意識しつつも、より一体的に事故防止に取り組める体制として、次年度は委員会の再構成も視野に検討していく。

権利擁護に関しては、権利擁護・虐待防止対策に関する法人共通の指針および虐待防止策、これまで策定してきた人権擁護・身体拘束等の適正化のためのマニュアルやガイドライン等に則り対応した。また、全職員を対象とした虐待防止セルフチェックを実施した他、管理職層・指導監督職層で人権擁護虐待防止委員会（身体拘束適正化委員会を兼ねる）を組織し、虐待事案の発見や更なる対策の検討、身体拘束適正化のための研修、啓発教育・予防のための研修企画実施などを行った。なお、引き続き、板橋区民生委員（行政書士）を権利擁護・虐待防止委員会の外部委員として迎え、園全体の取り組み強化を図っている。

人材育成・定着については、キャリアパス体制に沿い、育成担当者が個々の育成課題に効率よく関われるよう、管理職層と指導監督層が役割を整理・分担して、複層的な体制を整備した。運営会や法人理事長参加の中長期計画策定のプロジェクトと合わせ、育成者を複層化する必要性和メリットは確認でき、人材育成上の課題、その課題に即した支援体制の編成、人事配置、配置を管理職層と指導監督層で共有できる部分も確認できている。引き続き、仕事に対する意識や取り組みの多様性に対応しつつ、育成に努めていくが、業務遂行、法令順守、法人理念に則った実践の熟度を上げていく研修や育成、一定水準の業務を確実に遂行できるための教育、安定して業務遂行できるような支援者支援等、研修や育成を整理し、目標と実情に合わせて再構築していく必要があると思われる。

災害対策については、震災対策、消防計画と一貫した事業継続計画（BCP）の見直しを行い、継続して訓練を実施し、職員の意識向上を図っている。区立福祉園として災害発生時の地域の拠点となるべく、福祉避難所としての役割を整理し、荒川流域における水害発生時の要配慮者個別避難計画への対応を含め、さらに関係機関と連携し、進めていく。また、感染症等への対応として、感染防止対策を講じつつ、「新型インフルエンザ特措法」に基づくBCPの実効性を図っていく。災害発生時等の連絡手段として、さらなる有効な活用ができるよう、平時における緊急メール送信訓練を利用者家族対象に実施した。防災訓練については、実施日を指定するなど工夫し、毎月実施した。

なお、指定管理事業者独自の取り組みとして、就労継続支援B型事業と生活介護事業の希望者を対象に、福祉避難所での生活を想定した「防災宿泊訓練」を今年度も実施した。

運営改善に関しては、自己評価として就労継続支援B型事業と生活介護事業において、東京都福祉サービス第三者評価の指針に基づいた利用者調査を実施。赤塚ホームについては、緊急保護登録者のうち短期入所事業契約していない方を対象として、利用者調査を実施した。また、職員の基本的態度として、個人情報保護、ハラスメント防止、E S G等の研修を実施した。

地域との関係においては、展示販売活動をはじめとした地域行事への積極的な参加や地域向け情報誌「赤トク」の発行等を通じて、より密接な交流を進めてきた。2月には地域住民を対象とする活動公開と、園を会場として地域包括ケアシステム「板橋区版A I P」の下赤塚地区支え合い会議の地域座談会を実施した。福祉園祭りについては、暑さなども考慮し、利用者中心の園内行事として板橋区下赤塚地区民生委員・児童委員の協力も得て実施した。地域交流行事として予定した「赤塚ジモパ」については、主催団体の事情に伴い、昨年度までと同様、出店者としての参加となった。

ボランティアについては、生活介護事業、就労継続支援B型事業ともに、利用者の活動内容を豊かにすることを目的として、行事での受け入れの他、日常の活動での受け入れに積極的に取り組み、いたばし総合ボランティアセンター主催の夏ボラを受け入れた。今後も、園の方針とボランティア希望者の意向が合致した場合には、極力、継続していくよう努めていく。

社会貢献活動として、板橋区社会福祉法人施設等連絡会に参加し、地域活性化を進めるN P O法人等地域団体との協働を実施した。また、障害者への理解を進めるため、福祉系大学等からの実習生・研修生の受け入れの他、将来の福祉を担う人材のすそ野を広げることを視野に入れて地域の中学校からの職場体験学習の受け入れも積極的に進めた。

板橋区との関係においては、指定管理事業者として、板橋区福祉部障がい政策課との連携を密にし、事業運営を進めた。また、板橋区地域自立支援協議会権利擁護部会、板橋安心ネット、地域生活支援拠点運営会議、板橋区版A I P（地域包括システム）の支え合い会議下赤塚等の板橋区内の活動に積極的に参加する他、区立福祉園をはじめとした区内関係機関・事業所との連携を進めた。また、施設整備として、エレベーター制御更新工事は11月15日から12月26日の1ヶ月間で予定通り完了した。

法人の執行本部の下、他拠点・事業所との連絡を密にし、経営会議、情報連絡会、園長会の他、理事長を中心とした各事業拠点単位の運営会、中期計画PJ、各種係・委員会活動等を通じて、法人内の情報の共有を図っている。

2) 月間・年間行事等実施状況

別紙のとおり。

3) 職員体制

組織図を添付

4) 職員研修

①事業所内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
毎月	動作法研修（牛山卓也講師）	園内	生活介護職員
毎月	動作法研修（藤岡孝志講師）	園内	生活介護職員
通年	接遇研修・権利擁護研修（eラーニング）	園内	全職員対象
4月12日	車椅子・移乗講習①	園内	新任職員対象
4月18日	車椅子・移乗講習②	園内	新任職員対象
4月25日	バスリフト講習	園内	新任職員対象
5月 2日	嚥下講習	園内	新任職員対象
6月18日	権利擁護・虐待防止研修①	園内	全職員対象
8月22日	権利擁護・虐待防止研修②	園内	全職員対象
11月中	まん延防止実地研修	園内	全職員対象
1月30日	身体拘束適正化研修 外部講師	園内	全職員対象
2月27日	ハラスメント防止研修	園内	全職員対象
2月27日	個人情報保護研修	園内	全職員対象
2月27日	環境教育研修	園内	全職員対象
3月19日	権利擁護・虐待防止研修③	園内	全職員対象
3月26日	医療研修（まん延防止）	園内	全職員対象

②法人内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
7月 8日	新任職員フォローアップ研修	袖ヶ浦	6名
9月 1日	ファシリテーター研修	園内	副主任以上
11月27日	拠点間研修①（権利擁護・虐待防止）	わかばの家	1名
12月24日	受容的交流アプローチ研修	園内・法人本部	3名
2月 2日	拠点間研修②（権利擁護・虐待防止）	子研	1名
2月21日	全体職員研修①	TKP品川	全職員対象
3月14日	スタート・ステップアップ研修	市ヶ谷	6名
3月 中	全体職員研修②（動画）	園内・法人本部	全職員対象
通年	心のケア研修	袖ヶ浦	1名
	療育合宿（夏季・冬季）	中止	

③外部研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
5月26日	上級救命講習	志村消防署	1名
8月 5日	東京都強度行動障害者支援者研修	両国	1名

8月18日	東京都虐待防止・権利擁護研修	オンライン	1名
8月19日	東京都虐待防止・権利擁護研修	オンライン	1名
8月26日	東京都福祉人材センターファシリ研修	文京区	1名
9月 4日	東京都虐待防止・権利擁護研修	オンライン	1名
9月11日	東京都強度行動障害支援者研修	新宿区	1名
9月13日	全自者協関プロ研修 PICAGIP 研修	オンライン	1名
10月 4日	東社協 重度障害者研修	飯田橋	3名
10月10日	上級救命講習	渋谷消防署	1名
11月20日	板橋区立福祉園生活介護職員交換研修	小豆沢福祉園	1名
11月27日	板橋区食品衛生講習会	グリーンホール	3名
12月 4日	上級救命講習	足立区	1名
12月 5日	上級救命講習	立川市	1名
12月 6日	全自者協関プロ研修 SV 研修	オンライン	2名
12月 8日	上級救命講習	志村消防署	1名
12月 9日	東京都強度行動障害実践研修	オンライン	1名
12月 9日 10日	全自者協 全国大会	福井県	2名
12月15日	東京都強度行動障害実践研修	新宿区	1名
1月21日 22日	東京都サービス管理責任者実践研修	成増	1名
1月24日	東京都 スキルアップ研修	御茶ノ水	5名
2月 6日	全自者協関プロ研修会	東京駅	2名
2月19日 20日	東京都 サービス管理責任者研修	戸山サンライズ	1名

5) 実習生等の受入

形態	受入先	人数
学生実習	東京都市大学	1名
	星美学園短期大学	1名
	東洋大学	1名
	目白大学	1名
	大東文化大学	1名
	十文字学園女子大学	1名
	こども教育宝仙大学	1名
職場体験	志村第四中学校	2名
	赤塚第二中学校	2名
ボランティア	個人 ※夏ボラ含	5名

	福祉園祭り	3名
	地域交流行事	実施せず

6) 施設整備（建物改修、設備・備品等購入等）

- ① エレベータ制御更新工事
- ② 見守りセンターの導入（赤塚ホーム）
- ③ 安心カメラの増設

7) 健康診断等

① 利用者定期健康診断

12月16日 大橋病院 出張検診

検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン

② 職員健康診断（生活習慣病予防検診含む）

楠医院ほか 各自で受診 職員56名受診

検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン
胃部レントゲン、聴力検査

③ 夜勤対応健診（赤塚ホーム配属職員のみ）

検査項目：診察、血圧測定、視力、聴力、身体計測、尿検査

楠医院 職員9名 各自別日程で受診

④ ストレスチェック

1月に実施 職員52名 同友会に委託

別 紙(事業報告書関係)

赤 塚 福 祉 園 年 間 行 事 等 実 施 状 況 (2025年度)

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1 0	全体家族連絡会			2 5	職員会議 虐待防止研修 他	1 5	防災訓練	1 7	衛生委員会
5月	13・15	センター別家族連絡会			3 0	職員会議	1 5	防災教育	1 5	衛生委員会
6月	1 2	全体家族連絡会	2～6	活動公開	2 7	職員会議 虐待防止研修	2 6 27・28	防災訓練 防災宿泊訓練	1 9	衛生委員会
7月	1 8	赤塚福祉園祭			2 8	職員会議	1 5	防災訓練	1 7	衛生委員会
						フォローアップ研修				
8月					2 9	職員会議	1 5	防災訓練	2 1	衛生委員会
						虐待防止研修				
9月					2 6	職員会議	1	安否確認訓練	1 8	衛生委員会
10月	2 5	区スポーツ大会（中止）			3 1	職員会議	1 5	防災訓練	1 6 14・15	衛生委員会 歯科検診
11月					2 8	職員会議	1 8	防災訓練	2 0	衛生委員会
						まん延防止実地研修				
12月					2 6	職員会議	1 5	防災訓練	1 8	衛生委員会
									1 6	利用者健康診断
1月					3 0	職員会議	1 5	防災訓練	1 5	衛生委員会
						身体拘束適正化研修				
2月	16～19	区立福祉園作品展	2～6	活動公開	2 7	職員会議	1 9	防災訓練	1 9	衛生委員会

					2 1 全体職員研修 2 7 個人情報保護・環境教育 ハラスメント研修				
3 月	2 4	全体家族連絡会			3 1 職員会議 1 4 新任職員研修 1 9 虐待防止研修 2 6 医療研修（まん延防止）	1 1	防災訓練	1 9	衛生委員会

組織図(板橋区立赤塚福祉園)

